

第 17 期上期の総括

前第 2 四半期累計期間との比較において、売上高は 3.0%増、売上総利益は 4.0%増となったが、営業利益は 39.6%減、経常利益は 37.5%減、当期純利益は 41.5%減となった。

前期から始動したファッション、ホビーを強化商材とする改革プログラム(マジグラム)により、既存店売上は回復した。この要因は、前期下期より、近年マーケットの縮小が著しいメディア関連商材(本、TVゲーム、トレーディングカード及びCD、DVD等)について、一部店舗における売場の廃止を含めた大幅縮小を急速に進めた結果、メディア関連商材が売上減少した一方で、ファッション、ホビーの強化商材の大幅な伸びでカバーすることができたためであり、4 月以降は既存店売上高は昨対 100%超を維持している。この商材のセールスマックスの変化により売上総利益率についても 0.6%ポイント改善し、売上高が 3.0%増に対し売上総利益は 4.0%増となった。

一方で、販管費については、主にEC関連の広告宣伝費、人件費、運賃の増加、及び次期店舗運営管理システム構築関連に係る支払報酬の増加により販管費合計で 6.6%増となり、営業利益以下の各損益において大幅減益となった。

なお、第 2 四半期の業績予想を大幅に下回った要因は、下期に予定していた出退店を前倒したことに伴い、出退店関連費用が増加したことによるものである。そのため、上期は大幅減益となったものの通期の業績予想は平成 27 年 4 月 14 日発表の数値を据え置いている。

第 17 期下期の課題

① 店舗政策

商品、オペレーションともに全店舗において改革を継続中であるが、いくつかの店舗において業績の改善が遅れている。特にメディア関連商材について比較的大きな売場を持っていた店舗においてそれが顕著である。当面は立て直しに傾注するが、改革を開始して相当期間が経過していることもあり、赤字店舗については退店を含め、より積極的にスクラップアンドビルドを検討していく。

また、多くの店舗が内外装ともに古色蒼然としたものとなっており、ファッション取扱店として望ましくないものが多い。これらについては、漸次段階的に改装を行っていく。上期に出店したファッション専門店である熱田一番店は、従来とは異なる内外装としたことで、女性を中心とした新たな客層の開拓ができている。

② 商品政策

取扱商材について、更に選択と集中を進めていく。ファッション、ホビーの買取仕入を強化するため既存バイヤーの能力を更に高め、彼らに続く者を育成していく必要がある。そのため、マジグラムによる継続研修プログラムの実施、商品情報の集約、整理、発信の強化、OJTの精度向上を図っていく。

③ ECの強化

ECにおける売上高は前年同期比でほぼ倍増している。自社サイトへの出品体制の整備は完了しつつあるが、出品から発送までのリードタイムの短縮及び効率化が下期の課題である。また、販売のみならず宅配買取の強化も推進していく。前期に宅配買取専用サイトをリニューアルし、上期に積極的な広告宣伝活動を実施した結果、買取件数及び金額は順調に伸びてきている。更にサイトの認知を高め、飛躍的な買取伸張のためサイトの充実及び広告宣伝活動を強化する。また、今後急速に増加する物量に対応するべく物流機能の体制を整備する。

④ 人事政策

平成 27 年 12 月に新給与制度への移行を行う。現行の職能等級制度は、その導入からかなりの時間が経過しており、形骸化の感が否めず様々な弊害が生じていた。新制度は、役割等級制度とし、各等級における役割を定義し、それに基づき評価を行う。

新制度への移行にあたっては、今までの等級に関係なく、現時点においてその役割(=等級)の定義に合致する人材かどうかにより等級の割振りを行うこととなり、従業員の實力実態に見合った給与制度になると考えている。

これにより、新旧の世代交代を促進し、現在及びこれからの人材の活性化に繋げる。また、各等級の役割定義を明確にし公開することにより、従業員自らがキャリアプランのイメージを明確に持てるようになり、安定的な雇用にも繋がると考えている。

補足資料

1. 損益計算書概要

(単位:千円)

	第16期2Q	第17期2Q	増減比(%) (前年同期比)	第17期 業績予想	増減比(%) (前年同期比)
売上高	2,664,107	2,742,840	3.0	5,615,420	0.2
売上総利益	1,399,624	1,456,138	4.0	3,048,411	4.0
売上総利益率	52.5	53.1	0.6	54.3	2.0
販管費	1,323,190	1,409,941	6.6	2,758,996	4.0
販管比率	49.7	51.4	1.7	49.1	1.8
営業利益	76,433	46,196	△39.6	289,414	3.9
営業利益率	2.9	1.7	△1.2	5.2	0.2
経常利益	84,457	52,770	△37.5	305,089	4.2
経常利益率	3.2	1.9	△1.3	5.4	0.2
当期純利益	45,906	26,846	△41.5	177,806	11.3
当期純利益率	1.7	1.0	△0.7	3.2	0.3

2. 商品分類別販売実績

(単位:千円)

	第16期2Q		第17期2Q		増減比(%) (前年同期比)
	売上高	構成比	売上高	構成比	
ファッション	1,094,767	41.1	1,181,954	43.1	8.0
ホビー	616,397	23.1	639,587	23.2	3.8
GAME	211,677	7.9	156,715	5.7	△26.0
貴金属	82,917	3.1	96,618	3.5	16.5
その他	658,348	24.7	667,964	24.4	1.5
合計	2,664,107	100.0	2,742,840	100.0	3.0

3. 全店、既存店の前期比及び店舗数

		売上高(単位:%)		店舗数(単位:店)		
		全店	既存店	出店数	退店数	全店舗数
	H27年3月	96.9%	96.6%	—	—	34
	4月	106.4%	105.3%	—	1	33
	5月	102.8%	102.0%	—	—	33
	6月	101.0%	100.6%	—	—	33
	7月	103.8%	103.2%	—	1	32
	8月	101.7%	102.2%	1	—	33
	上期計	102.0%	101.6%	1	2	33

以上